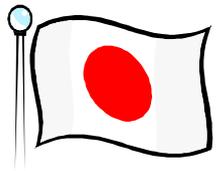
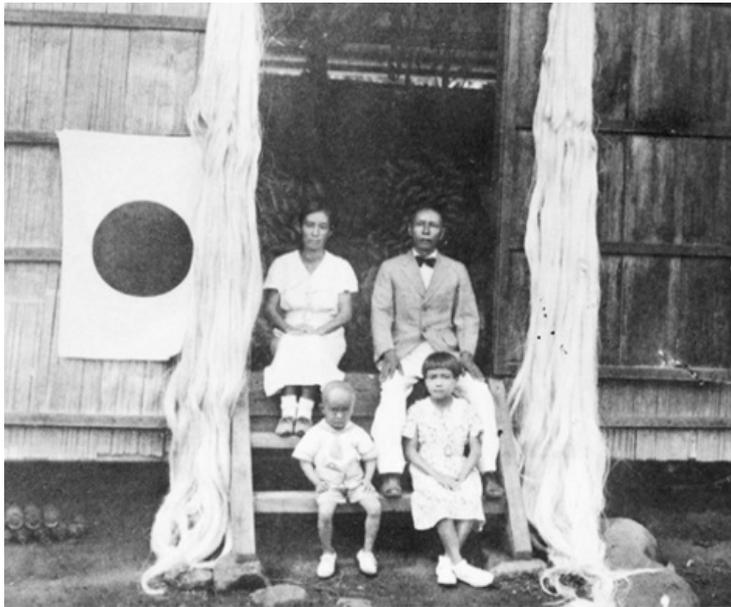


「忘れられた日本人」



～父を捜して70年～



《フィリピン残留日本人問題とは？》

第2次世界大戦前、道路建設や農業開拓のために多くの日本人がフィリピンへ移住し、開戦時には約3万人が生活していました。その多くは現地でフィリピン人女性と結婚し、平穏な生活を営んでいました。

しかし戦後、日本人は強制帰国を余儀なくされ、残されたフィリピン人妻や子どもは反日感情による差別や虐待を恐れ、婚姻証明書や出生証明書などを破棄するなどして日本人であることを隠し、生き延びてきました。反日感情が和らいだ今、日本人のアイデンティティを回復するために日本国籍の取得を求めています。身元を証明する書類をほとんど紛失してしまっている者が多く、困難を極めています。

戦争によってフィリピンに取り残された残留2世の方々が、日本国籍取得を求めて来日します。彼・彼女らの日本や親への思い、そして戦前・戦中・戦後の体験について話し合います。戦後69年経った今も解決されていないフィリピン残留日本人の問題について、一緒に考えてみませんか？

会場：JR四谷駅前 主婦会館 プラザエフ8階スイセン
日時：2014年8月10日（日） 14:00～16:00

第1部：フィリピン残留日本人2世問題の背景・弁護士による法的支援の解説
第2部：残留2世の声「日本人の証を求めて」

参加申し込み

NPO法人フィリピン日系人リーガルサポートセンター(PNLSC)

電話：03-3355-8861 FAX：03-3355-8862

※参加費用：無料

Email: info@pnlsc.com

■会場案内図：主婦会館プラザエフ

〒102-0085 東京都千代田区六番町15
TEL 03(3265)8111

JR線／四ッ谷駅麹町口 徒歩1分

地下鉄 丸の内線・南北線／四ッ谷駅 徒歩3分

